

巣舞る通信



千人鮮色

TAKADA

株式会社 高田建築事務所

25号2015年12月

「40+1年目のとし」感謝そして万謝！

常日頃は、大変お世話になっております。

2015年も大勢の皆様にご愛顧・ご支援頂きましたこと、心より感謝申し上げます。

弊社も来る年2016年は、大きな節目の年をむかえます。

特に40周年というと仰々しくも響きますが、次のステップの為に必要なイベントと想い取り組んでまいります。竹の節も生長の軌跡といわれているからです。

40周年といえば、40年目の年を言う場合があるとも聞きましたが、一般的には満40年を迎えたときから1年間を言うのだそうです。

なるほど、1周年は2年目を言う訳ですから40周年は41年目を言います。そこで私達は来るべき年を「40+1年目のとし」と呼ぶことにしました。長い間、20周年・30周年にないこだわりを40周年に持っていました。何故40なる数字にこんなに自分がこだわるのだろうか？あらためて自問してみました。

孔子は論語の中で：子曰く「吾 十有五にして学に志し 三十にして立ち 四十にして惑わず 五十にして天命を知る 六十にして耳順い 七十にして心の欲する所に従いて矩（のり）を踰えず」と言いました。

「40にして惑わず！」所謂、不惑の年代です。視点を換えてみれば、確かに、それまでは若気の至り感を拭えないことも事実でした。夢も希望も大きいだけ迷いも沢山有ったことになります。その道中は多くの岐路にも立たされ決断の連続と言っても過言ではなかったかと思います。だから、不惑としたのでしょうか？いずれにせよ、40は大きな節目です。

また、「40」が試練の数字だと言われている物語を沢山伝え聞いています。そのうちの一つに私の心に残っている伝え話があります。紀元前13世紀も前の話です。古代の民族指導者で石板に「十戒」を神様から与えられたと言うモーゼの話です。映画「十戒」の主人公モーゼ扮するチャールトン・ヘストンの演技には魅了されました。杖を突くと紅海が真っ二つに割れて、追っ手から逃れて故郷に向かう映像は正にクライマックス。とても迫力のあるものでした。そのモーゼに率いられてエジプトから故郷に帰るお話です。その旅路が、なんと40年間もかかったと言う壮大なドラマです。

・・・そのほかにも40なる数字にまつわる話は枚挙に暇がありません。私達も40周年にこだわるのは、こんな想いがあるからかもしれません。40年：いずれにせよ私達の会社にとっては、とても大切な年に変わりはありません。夢を追いかけて建築主様と目に見えない想いを目に見える形にしていく道のりはいつも感動の渦でした。

まだ見ぬデザインに感動カテライザーを加えて、一步々歩いて来た足跡は決して消すことが出来ない事実です。

その旅路を振り返れば様々な言葉と出会い、個性ある言葉が誕生しました。

- ・「巣舞(すまい)」づくり：巣は形！舞は想い！を標語に個性ある巣舞づくりをしてまいりました。当然事ながら建築物というハードと共に物語と言うソフトのコラボが誕生したのです。
- ・「間知(まち)」づくり：巣舞が群がって街をつくっていきます。そのときに大切にしたい距離感と間合いを「間知」づくりにこめました。
- ・「3つのNEがい！」：を合言葉に建築主様の百花繚乱のNEEDsに真正面から向かい合い、NEO：新しい味を加えながらNECESSARY：必要とされる会社になろうと取り組んでまいりました。
- ・「DOOC I」：21世紀は「ドッチ」の方向に向かおうとしているのか？質問は答えでした。希望と不安の答えはD：デザイン+O：オリジナル・オーガニック・面白く+C：コンセプトチュアル・コラボ・コミュニティ+I：アイデンティティ・IT・・・へ向かっている時代を一言集約！
- ・「千人鮮色」：40+1年目の年は、建築主様からファーストコールされる理由・存在意義を見つめなおし、改めてロゴ表示させて頂くことにしました。千人おられれば千人の鮮やかな色彩が輝くのです。正に基本に立ち返っての視点で次の年代をつないで行きたいと思っております。

さー、一步前に！

「40+1年目のとし」として、心機一転でリスタートしたいと思います。

ブランディングプロジェクトで、発表させていただいた「千人鮮色」が弊社の旗色です。歩んで来た40年は、お住まいになられるご家族様の個性ある鮮やかな想いを形作るお手伝いをさせていただきました。旗色鮮明：この旗色をますます鮮やかにして巣舞づくりという夢を実現させようとされている皆様の同伴者としてまい進してまいりたいと思います。

そんな想いで、来る年も高田建築事務所
スタッフ一同は頑張っていきたいと思いを。
何卒、よろしくお願い申し上げます。
末筆になりましたが、皆様のご家族様の上にご健康とご平安をご祈念申し上げます。

代表取締役社長
高田 清太郎



絵：秋山 孝

はじめに言葉ありき・育夢創造・3つの安全・三笑主義・三つのNEがい・ブランディングプロジェクト・喜・祈・感謝・ライプトークフォーラム・PCーブレカット機械導入・フォレストアカダ・モクード・DOCI・ニコニコの樹ムーブメント・ミトロの森・リフチの森・摂田屋ものがたり・APM美術館・巣舞・趣舞・間知・自立循環型住宅・芸術・町おこし・福祉・地域力・すまいるシステム・笑顔創造・ハイブリッド・長期優良住宅・リノベーション+リフォーム+リフォーミー・DAC・四季・太陽熱利用・OMソーラー・そよ風・オットセイ・やじろべえ・モクード・ミュート・SE構法・エコ・ハイク・RAM・W&W・免震・耐震・制震工法・TINY HOUSE・一努会・社聴熟・千人鮮色

第23回建築作品・新潟県賞「最優秀賞」受賞

新潟県建築士事務所協会主催の平成26年度「第23回建築作品・新潟県賞」にて「Soul Junction～日常の中の非日常へ～」が最優秀賞（住宅部門）を受賞しました。

ご協力いただきましたお施主様、および協力業者の皆様、大変ありがとうございました。これからも、高田建築事務所はデザインと技術の向上に頑張っていきます！



日本雪工学会 上信越支部「地域振興賞」受賞

日本雪工学会 上信越支部より「地域振興賞」を頂きました。
平成27年8月7日に長岡まちなかキャンパスにて表彰式があり、式後には記念講演も行われました。

業績名：「雪国の気候風土に根ざした一連の建築設計活動」



「この度は地域振興賞を受賞させて頂き、感謝申し上げます。私達の取り組みは建築物の屋根雪処理（人力・融雪・耐雪・ハイブリッド等）の問題を中心に、雪がもたらす比較的マイナスファクターとどのように対峙と共生（協奏）していくか？またそのプロセスを通して形化した結果として生まれる雪国の景観デザインを追求してきたものです。

個から群へ！個別建築から群建築！ 雪国のまちづくりの在り方にもテーマを広げて、雪国の快適な居住空間をこれからも追究したいと考えています。」（高田清太郎）

続・TAKADAブランディングプロジェクト

昨年は「私たちは何者なのか」の問いに、弊社の過去を見つめ、指針を再発見しました。そんなブランディングプロジェクトをアオーレにて社内発表したのが昨年の7/16のことでした。そこから1年が経過し、その後の取り組みや改めて気づかされてきたことをご紹介します。

社員手帳

プロジェクトの一環で社員手帳を作成いたしました。弊社のフィロソフィーを一冊の手帳に凝縮し携帯できるようになっています。現在は月曜朝礼でその週の項目を全社員で合唱し、担当者が一言発表をしています。

同じ言葉でも言う人によって、あるいは言い方によって意味が変わってきます。社員手帳にはいくつもの言葉が記されていますが、私たちひとりひとりの中でいかに消化・吸収しているかはもっと大切です。

「行動指針」と「住まいづくり9の宣誓」

社員手帳には行動指針が示されています。わたしたちは「モノ」だけでなく「コト」をつくることを目指しております。「コト」とは「感動」であり「価値」です。住まいをつくることは「感動・価値」づくりでもあり、それを実現するために日々の仕事の中で実践する10の行動指針があります。同じく手帳の中には「住まいづくり9の宣誓」というお客様に宣言するメッセージもあります。こちらは工事中の現場看板やHPにも載せております。



木族の会(協力業者)との合同安全大会で「住まいづくり9の宣誓」発表風景



行動指針

千人鮮色



住まいづくり9の宣誓

日に日に大切だと感じている言葉を行動指針と9つの宣誓からひとつずつご紹介します。

行動指針からは『わたしたちは今日も、プロセスを重要視します。』。9つの宣誓からは『わたしたちは何度でも対話します。』の言葉です。

意味が近いこのふたつの言葉は個性ある巣舞づくりの大事なエッセンスです。経営理念の二番目に「個性ある巣舞づくり」がありますが、この「個性」はお客様の個性です。個性的なデザイン、唯一無二なお住まいづくりのご提案にデザイン力が欠かせないことはもちろんですが、その前にお客様とのコミュニケーションが大切になります。

ある偉大な建築家は「建築は粘りだ!」という檄をスタッフに飛ばしたそうです。短い中にとっても力強さと本質を捉えた名言です。この言葉は建築関係に限ったことではなく、他分野でも言えることだと思います。

住まいづくりは完成までに多くの打合せ回数を重ねます。「人は想いの中に住まう」というように、何回も重ねる打合せ自体が大切な住まいそのものだと強く感じております。

千人鮮色

「千人鮮色」とは、十人十色が十人いれば十通りの色がある意味のように、千人いれば千通りの様々な想いがあります。そのひとつひとつの想いを鮮やかな建築のカタチとして実現すること。そのような意味が込められています。

千人鮮色とロゴマークには弊社のエッセンスが凝縮した言葉とカタチです。普段お会いするお客様から「千人鮮色」のことばをいただくことが増えてきました。発信した言葉がまた私たちに返ってくることは、励みにもなりより一層お客様に感動していただける住まいづくりをしていきたいと感じております。

今回は具体的なことばについてご紹介しました。社員手帳に込められたことばの実践を通して、これからもよりお客様に喜んでいただけるように取り組んでまいります。

今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

専務取締役 企画担当
高田 清之介

2015 築縁会 長岡

2015年1月31日・2月1日の2日間長岡築縁会が開催され、80件以上もの築縁様とお会いすることができました。

まだまだ雪も多く寒い日が続く中で、温かいお茶と笑顔で迎えて頂き、木族の会や高田スタッフもとっても感激しました。

住まわれてからの感想をニコニコ顔でお話し下さったり、要望や提案などを真剣な眼差しでご説明いただいたり、お聞きするこちらもついつい話が弾んで、長居をしてしまいます。

十人十色、百人百様・・・

巣舞への想いは築縁様それぞれであることを改めて感じます。

2015年はタカダのロゴマークが新しくなりました。

テーマは「千人鮮色」 千人いれば千通りの住まい方があります。

カラフルな丸の一つ一つ全ての色が異なるように、築縁様の巣舞への想いも同じものはありません。築縁様からお聞きしたたくさんの想いは、これからの巣舞づくりを彩り、きっと新しい「色」を作り出すことでしょう。

ご参加頂いた築縁様に感謝申し上げます。ありがとうございました。



2015 築縁会 新潟

2015年7月19日 新発田市藤塚浜にて毎年恒例の「新潟 築縁会」が開催されました。

築縁様62家族239名、木族の会スタッフ44名、そして高田スタッフ19名の総勢302名と、大勢の皆様にご参加いただきました。

当日は「スイカ割り」、「餅まき」に加え、新イベントの借り物競争ならぬ「借り人競争」が登場! 築縁様と木族の会・高田スタッフが手を取って砂浜を駆け抜け、白熱した盛り上がりを見せました。また、メインイベントの「地引網」は、今年も大漁でした。クーラーボックスに収まりきらないくらいの鰯と大きな鯛も引き揚げることができ、子供達も大興奮!

ご協力いただきました浜茶屋「江口屋」様をはじめ、木族の会の皆様、ご参加くださった築縁様に感謝申し上げます。





楽舞るメッセージ 住宅見学会 2015

2014年12月から2015年11月末までに行われた「楽舞るメッセージ 住宅見学会は、41回でした。どの回も築縁様の想いが満ちあふれ、ご来場頂いた方にも、「楽舞への想い」や「アイデア」に感動して頂けたのではないのでしょうか。新しい「縁」が生まれる場所となるように、楽しく、感動できる見学会を目指し、スタッフ一同頑張ります。ご協力頂きました築縁様、本当にありがとうございました！

築縁様から

「お客様アンケート」にお寄せ頂いた感想から一部抜粋させていただきました。

- 自分のわがままな提案を快く受け入れてくれて、かつ専門的に図面に上げてもらって大変たすかりました。（T様）
- 古い欄間や障子戸をセンスよく最利用しセンスよく飾っていただき、良かったです。明るく、暖かく、平凡ではなくてモダンな住まいとなり希望通りです。（O様）



688 Southern windに憧れて



687 Resort Life



686 Morning sun



685 景色のscene connection



684 開かれたダイニング



683 Green Times



682 Close and Open



681 Room-0



680 Sound House



679 Country resortな暮らし方



678 Cool Distance



677 Family Circle



676 とんぼの家



675 トランスフォーマー達の棲家



674 Step House



673 Bittersweet Sambaの家



672 Riverside House



671 森をとりこむ家



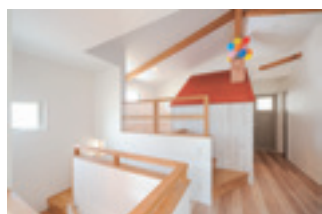
670 時を編む家



669 伝承の家



668 白いトンネルと茶色いトンネルの家



667 楽舞づくりの楽しみ方の提案



666 Hotel La Tavolozza W



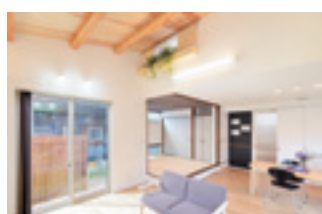
665 Stream Life



664 大きな袋とgardenerのおうち



663 Small home



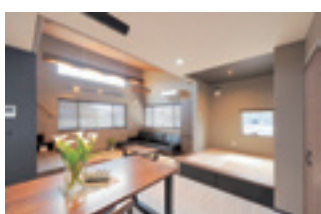
662 nico×2 house



661 TOYSポンチ



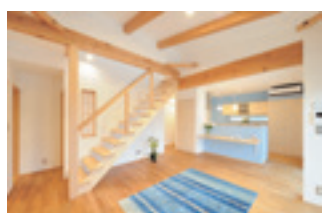
660 △□Rのお家



660 空を望む北側リビング



659 マイ フェイバリット ホーム



658 かめ食堂というまへの小さなおうち



657 あずき色の家



656 ちょうどいい家



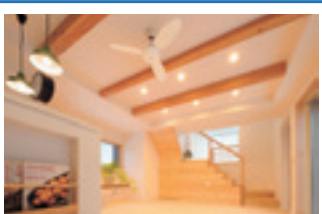
655 プライベート喫茶



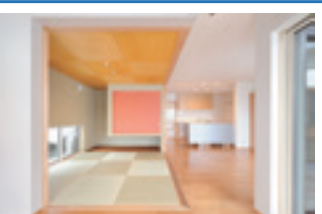
654 Skip terrace



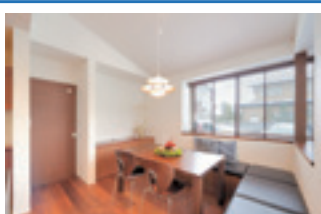
653 わんぱくs BASE



652 Dreams traveler



651 トレジャーハンターの家



651 Benchだいにんぐ



650 モノクロームの家

各種建築

住宅の他にもお店・事務所・福祉施設などをお手伝いさせていただいております。

■Cafe&Bar「Soup（スープ）」（新潟市中央区）4月竣工

小さなショットバー、Cafe&Bar「Soup（スープ）」様が、新潟市中央区古町5番町にオープンしました。オーナー兼バーテンダーのY様は女性です。女性一人でも気軽に立ち寄れて、誰でも気軽に一息ついて頂きたい...そんなY様の想いの詰ったお店です。座席数9席のスモールホットなお店に是非、お立ち寄り下さい。



■モダン仏壇専門店「仏乃蔵」（新潟市中央区）7月竣工

モダン仏壇の専門店「仏乃蔵（ぶつのくら）」様が新潟市中央区紫竹山にオープンしました。100%国産の仏壇を取り扱う、セレクトショップです。和室や仏間が無いお宅でも安心！洋室でも違和感のない「モダン」なお仏壇が取り揃えてあります。モダン仏壇に興味をお持ちの方、是非、足を運んでみて下さい。



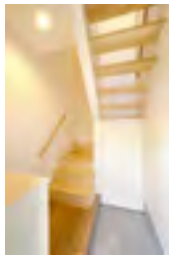
■地域密着型介護老人福祉施設「あさくさホーム」（福島県会津郡只見町）12月竣工

地域密着型介護老人福祉施設が完成しました。3つのユニットと地域交流スペースがあり、中庭を挟んで家庭的なサイズのユニットが配置されています。住み慣れた豊かな自然の中で快適な暮らしが途切れずに続けていけるように...との想いで設計をお手伝いさせて頂きました。



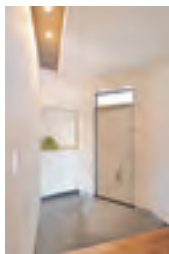
■賃貸アパート「ハイムナナヨシ」（長岡市宮原3）4月竣工

長岡市宮原に1LDKの賃貸アパートが竣工しました。女性や若いご夫婦向きに、内装は明るい色あいで、石目調のポイントクロスや小さなニッチ（飾り棚）も生活に彩りを加えます。広さや収納、室内設備も充実です。



■賃貸アパート「メゾン・ド・オーク」（長岡市摂田屋5）2月竣工

長岡市リブチの森にロフト付賃貸アパートが竣工しました。屋外のカーポートは雨雪から大切なお車を守ります。室内もゆったりLDK、広々ロフトが明るい空間を演出します。ロフトへ続く階段は、飾り棚・収納スペースとしても活躍します。



■見附市民ギャラリープロジェクト（見附市）平成28年春オープン予定

見附市民ギャラリーは、旧法務局跡地および施設を見附市の市民ギャラリーとして整備し、活用するプロジェクトです。

コンセプトは
・市民の芸術活動・展示を通して、賑わいのある人々との交流の場
・お茶を飲み、少しリッチな気分を味わえる癒しの空間
・子供から高齢者まで楽しめる、地域性を生かしたギャラリー空間



立地は見附市役所とアルカディアとトライアングルが望める位置にあり、市民の文化活動・交流の中心的役割を果たすことが期待されています。お楽しみに！

「楽舞る通信」に掲載致しました情報は、当社のホームページに、より詳しくUPされております。随時更新しておりますので、タカダの「今」を知って頂けると幸いです。ぜひご覧ください！
「Facebook」を始めました。当社ホームページの [f](#) よりご覧いただけます。たくさんの「いいね！」を宜しくお願い致します。

6.27 | 7.20 長岡まちなかミュージアム2015 絵本作家松岡達英の世界

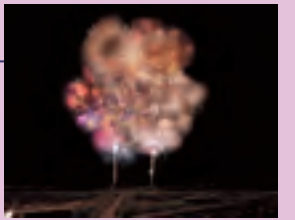
主催 / NPO法人ながおか未来創造ネットワーク
特別協賛 / 榎高田建築事務所

大人気絵本「ぴょん」の原作者松岡達英氏（長岡市出身）の絵本原画工作作品がアオーレ長岡を中心に大手通街に展示されました。子供から大人まで大勢の方が来場され、長岡のまちなか全体が楽しいミュージアムに。作品が人と人を結び、街を元気にしてくれました。タカダは松岡氏のアトリエ建築のお手伝いさせて頂いたご縁で結ばれています。



8.3 ベスピアス超大型スターマイン 「千人鮮色2015」 長岡まつり花火大会 今年も打ち上げました！

花火のタイトルは、タカダスローガン「千人鮮色(せんになんせんしやく)」です。キャンパスに見立てた夜空に、お客様が鮮やかな色彩を加えて、夢を広げて楽舞への想いを叶えてほしいと、願いを込めて打ち上げいたしました。



9.9 育夢創造（はぐくむそうぞう）Project 10 上組小学校6年生の制作活動！

今年もタカモクのプレカット工場の端材を使って作品づくりをしました。学校の中の美術館「こだま美術館」や校内に展示する作品を制作します。テーマは昨年と同じ「ドリーム・ハウス“あったらいいな！こんな家”」です。子供達は様々な形の端材で、楽しそうにオリジナルハウスを作っていました。子供たちの夢づくりのきっかけや、地域の発展に貢献させて頂き、地元企業としてお役に立てたようで嬉しく思います。この教育活動に参加された元上組小学校の黒井教諭が美術教育の実践報告や研究論文を表彰する佐武賞（佳作賞）を受賞されました。



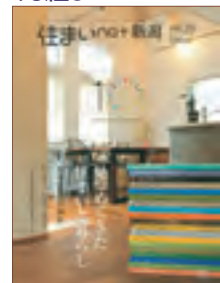
10.31 | 11.1 『トキっ子子育て応援フェア2015』 ハイブ長岡大ホール 集まれ新潟のトキっ子たち！

「トキっ子くらぶ トキっ子子育て応援フェア」に今年も参加しました。タカダは今年も木の香りあふれる造り込んだブースや、住まいのパネルや木のカレンダーのプレゼントなどで子育て世代ファミリーへPRです。チビっ子達には毎年大人気の「木製プレートお絵かき」で楽しんでもらいました。プレートを飾る「育夢の樹」は、あっという間に子供達の描く楽しく可愛らしい絵でいっぱいになりました。

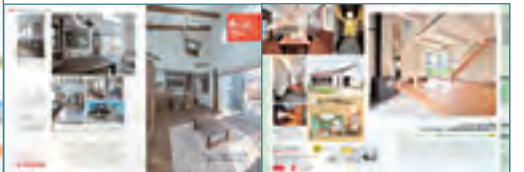


メディア情報

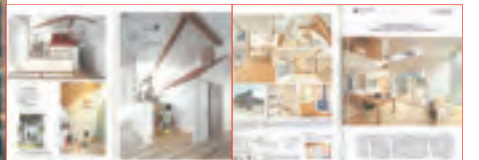
●住まいnet+新潟 Vol.20



●ハウジングこまち2015夏・秋号



●sumica（スミカ）創刊号



●n-ssh
「わたしの仕事」



●日経アーキテクチャー4/10発行



TAKADA
株式会社 榎高田建築事務所
<http://www.takada-arc.com>
Nagaoka/長岡市摂田屋5-6-22
Niigata/新潟市中央区女池南3-5-15

